

■泊江市子どもの権利条例(案)に対するパブリックコメント及び回答について

	条例(案)に対する意見	回答	修正の有無	具体的な修正内容
43	<p>一市内ボランティア団体の代表として意見いたします。私たちは共生食堂と不登校の親の会を開催しています。</p> <p>条例案第2条(5)施設関係者 施設に従事している職員とボランティア活動を行うものを同等にしないでいただきたいです。職員は行政側、給与も支給されています。私たちボランティア団体は全く無償で善意のみで活動をしている市民です。『ボランティア活動を行うもの』の削除を求めます。</p> <p>同(6)団体 営利活動を行う団体と非営利活動を行う団体を同等にしないでいただきたいです。私たちボランティア団体は全く無償で善意のみで活動をしている市民です。条例で「義務」を負わされるような立場ではありません。また、施設の安全を確保し、子どもが安心して過ごせる場所を確保することや、子どもの様々な遊び学び体験等の活動の機会を確保するのは、私たちのようなボランティア団体ではなく、行政の義務と考えます。よって市民団体が活動するにあたって、施設の安全を確保し、子どもが安心して過ごせる場所を確保することや、子どもの様々な遊び学び体験等の活動の機会を確保する等、子どもの権利を保障するために連携、協力することは行政の義務と考えます。</p> <p>第11条 2「市が進める施策について」とありますが、市民団体は行政の下請ではありません。これを努力目標とされることは、大変遺憾です。</p>	<p>日頃からボランティア団体として活動いただきありがとうございます。団体については、市内で営利活動又は非営利活動を行う団体も含めて定義しています。この背景としては、子どもの権利を保障していくために、企業や事業者のような営利団体のほか、NPO法人や市民公益活動団体、町会自治会のような非営利団体の協力があることで、より一層の推進が図られるものであることから、子どもと大人が互いに尊重しともに生きていくことができるまちをつつづく地域の一員としての役割を「期待」することとして、規定していますので、いただいたご意見を踏まえ、市が進める施策への規定ではなく、子どもの権利を保障するための規定に表現を修正させていただきます。</p> <p>なお、施設関係者の定義については、施設において働いている職員や施設の運営に関わる事業者、ボランティアスタッフなどであることから、いただいたご意見を踏まえ、表現を修正させていただきます。</p>	<p>○</p>	<p>(第2条第5号)</p> <p>【修正前】施設関係者 施設に従事している職員及び施設においてボランティア活動を行う者をいいます。</p> <p>【修正後】施設関係者 施設に従事している職員(ボランティアを含む。)をいいます。</p> <p>(第8条各項、第11条第2項・第3項)</p> <p>【修正前】～市が進める施策について、それぞれの立場でできることから関わり、～</p> <p>～努めなければなりません。</p> <p>【修正後】～子どもの権利を保障するために、それぞれの立場でできることから関わり、～</p> <p>～努めるものとします。</p>
42	<p>6ページ 第3章9条 2.「子どもにとって最も良いことは何かを考え」が入っているのは良いと思う。子どもにとっての最大な利益を保障する必要があります。</p> <p>同様に第10条、第12条にも「子どもにとって最も良いことは何かを考えて」と書かれているのが良いと思います。</p> <p>ただ「団体の役割」のところでは、突然「団体」が条例の客体として登場しています。であるなら、団体の皆さんに、この条例の内容を丁寧に説明して納得いただくことをすべきではないでしょうか？</p> <p>確かに、市民説明会は開催されていますが、団体として、営利団体と非営利団体が条例に登場しますので、少なくとも公民館利用団体、市民活動支援センター利用団体に対しての説明会、また、営利団体としては、商工会や産業協同組合などに、説明をして理解を進め意見を聞いたりすべきではないでしょうか？</p> <p>そのうえで、アベニース 第11条の「市が進める施策について」の「施策」は何かなのか、子どもの権利条例上の「施策」であろうと考えられますが、その明記がないので、市が進めるすべての施策なのかと勘違いしてしまい、市民活動員条例のように感じました。</p> <p>そこで、子どもの権利条例の第4章の「基本となる施策」のこととわかるような表記をください。</p> <p>また、11条の3項では、子育て中の方が参加しやすいよう、「団体活動を両立させる」という表現は少し強すぎるのではないかと感じました。何を指すのかかなり不明確です。</p> <p>子ども食堂を開催している団体としては、どういうことを指すのか、説明を聞きたいと思いました。団体に対する説明会を開催してください。</p> <p>第4章、市の施策、に、「第16条子どもの居場所づくり」が入っているのは良いと思いました。</p> <p>ただ、残念な点</p> <p>子どものプライバシー権に関しての記述がないのが残念です。</p> <p>大人の権利と等しい権利が子どもにはあると書かれていることで代弁されているのかもかもしれませんが、子どものプライバシー権は、特定されない権利や「放っておかれる権利」性に関する知識を知る権利「性的虐待を受けない権利」(性は最もプライベートなことであるので)なども大変重要で、今日の学校空間や各施設への性的虐待被害にあう子供が後を絶ちませんので、それへの対応をきちんとするために、子供のプライバシー権や、知る権利、プライバシーが守られる権利、性的虐待を受けない権利なども明記してほしい、と感じます。</p>	<p>日頃から地域の子ども食堂として活動いただきありがとうございます。団体については、その活動によって影響を受ける子どもの権利を守ることや、団体に所属する者の子育てと団体活動の両立を支援していくことが大切であること、また、子どもの権利を保護していくために、団体の協力があつてこそ、より一層の推進が図られるものであることから、子どもと大人が互いに尊重しともに生きていくことができるまちをつつづく地域の一員としての役割を「期待」することとして規定していますが、ご意見を踏まえ、市が進める施策への規定ではなく、子どもの権利を保障するための規定に表現を修正させていただきます。</p> <p>団体の方もめめた市民説明会としては2回開催させていただきましたが、今後も様々な機会を捉えて周知啓発に努めてまいります。</p> <p>ご意見いただいた具体的な子どもの権利については、特に虐待に関する記述などは既に本条例においても規定しているところでもあり、今後の施策に推進に当たって参考とさせていただきます。</p>	<p>○</p>	<p>(第8条各項、第11条第2項・第3項)</p> <p>【修正前】～市が進める施策について、それぞれの立場でできることから関わり、～</p> <p>～努めなければなりません。</p> <p>【修正後】～子どもの権利を保障するために、それぞれの立場でできることから関わり、～</p> <p>～努めるものとします。</p>
41	<p>①条例の名称に「権利」の言葉が明確に入れられたことを歓迎します。</p> <p>②なによりこの条例が必要なのか、いわゆる立法事実については、「子どもの権利が認められていない」「侵害されている事象が少なからず認められる」ためなのでしょうか？子どもの権利が十分に認められており、権利の侵害などないであれば、条例制定は必要ありませんから、少なからず「条権利」や「権利侵害」があるという認識がなされているのだらうと推察されます。具体例をあげれば「第4章 基本となる施策」の各項目なのだと思います。であれば、前文や第一条(目的)に、泊江市において、子どもの権利保障にさまざまな課題があるという現状認識を指摘することは必要なことではないかと考えます。</p> <p>ちなみに、「人権を尊重しみんなが生きやすい泊江をつくる基本条例」では、前文で「のまちにも、自分の人権が侵害されたと感じている、生きづらさを抱えている人がいます。」との現状認識を書き込んでいます。</p> <p>③「第2章 子どもの権利」で指摘されている権利はどれもとても大切な権利であり、しかしこれまでに十分に認められてこなかったものだと考えます。ゆえに、実効ある権利保障のためには、現状をどう評価するのかという作業が欠かせません。</p> <p>その点で、「第3～5章」にもかかわることですが、「意見表明及び参加・参画する権利(第7条)」に関連して、意見を述べたいと思います。十分な情報を持ち合わせていないために、誤った推測をもとにした意見である可能性もありますが、ご容赦ください。それは、今年の8月から市民プールの閉鎖の問題です。子どもたちが楽しみにしていたプールが、老朽化に伴う改修工事(2025年8月～2026年9月)のために、ほぼ2シーズンごと閉鎖となりました。私が行ったWEBアンケート(100超過以上の回答)でも、工事期間の開始時期を前後のどちらかに動かせる閉鎖は1シーズンで済んだのにという意見が多数聞かれました。知りえた事情からは、各種体育行事の実施を優先的に保障するという判断だったのだと思います。課題と考えるのは、この判断の中に、子どもの意見を聞くことがなかったことにあります。「おとなの都合」で決まったのであり、「意見表明及び参加・参画する権利(第7条)」の考え方は適用されなかったと思われず。では、条例が施行されたあかつきには、こうした今回のプールのような事例における行政の判断プロセスに変化が生じるのかということが問題となります。これまで、「おとなの意見(都合)」と「子どもの意見(願い)」が両立できない(対立する)場合、そもそも意見表明の機会もありませんでしたが、「対等」に検討されることなく「おとなが優先」されてきたように思います。</p> <p>子どもの権利条例では、これまでほとんど顧みられることがなかった「子どもの意見」を「聞く」「尊重する」ことなどを明記しており、大変重要なことと思いますが、それは、「おとなの都合が優先」の範囲でのものなのか、「対等平等」といったところまで保障されるのかについても、知りたいたいと感じました。</p> <p>なお、「第3条 子どもの権利条約及び子ども基本法に基づき、子どもは権利の主体として大人と等しい権利が保障され」の「おとなと等しい権利」とは、「権利の内容が大人と同じ」ということであり、「おとなと対等な権利」ではないという理解でよいのでしょうか。それとも「おとなの意見も子どもの意見も対等に扱わなければならない」とまで解釈できるものなのでしょうか。逐条解説などで明記いただくことはできないでしょうか。</p> <p>④「第5章 施策の推進及び体制」に関連して、子どもの権利を保障するためには、第20条の普及啓発によって「子どもへの理解と関心を深め」「意識の醸成に取り組む」ことはもちろん大切なのです。同時に、「子どもの権利の侵害」の背景には経済的問題を主因とした生活困窮が存在することが少なくありません。</p> <p>21条の「4」では「市は、この条例を推進するために必要な財政的措置を講ずる」とありますが、これは、普及啓発のための財政的措置にとどまるものでしょうか。それとも、市の施策全体に通ずるものなのでしょうか。この間、子どもと医療費の保護者負担の軽減や給食費無料化など大切な取り組みの前進も見られますが、ぜひ、子どもの権利保障の観点から生活困窮および格差解消への支援を重視した「財政措置」を実施してもらいたいと思います。逐条解説などでも、この「財政措置」は「普及啓発」の狭い範囲ではなく生活困窮や格差解消の支援を重視するものであることを明確にしていきたいかと思います。</p>	<p>いじめや児童虐待、ヤングケアラー等、子どもの権利が侵害されている事例が全国で相次いでおり、泊江市においてもそのような事例があることも事実です。前文に同様の文章を記載することも検討しましたが、普遍性・一般性を持つ長期的な法規制であるという条例の性格を考慮し、本条例については前文及び第1条への記載は行っておりません。条例制定に至った背景や課題、また、各文に込められている思いや内容の解説等については、条例の逐条解説の中で整理させていただきます。</p> <p>子どもの権利を保障するためには、全ての人が条例の主旨を理解し実践していくことが必要であることから、様々な機会を捉えて、条例の普及啓発に努めてまいります。</p> <p>本パブリックコメントは、具体的な事例について回答するものではありませんが、「子どもの意見」に関するご意見については、「大人が考える子どもの最善の利益」ではなく、また、子どもということでその意見が軽視されることがないよう、子どもの意見、気持ち及び考えを理解した上で、子どもの立場に立て、子どもにとって最も良いことが優先して考慮されるよう、子どもとも考える必要があります。</p> <p>また、本条例においても、第4章において、基本となる施策を規定していますが、生活困窮や格差解消等の施策についても、本条例をはじめとした関係法規、各種行政計画等に基づき施策を進めてまいります。</p>	<p>×</p>	

40	<p>鉤江市に子どもの権利条例が制定される。なんて嬉しい事です。子どもは大人と等しく人間間的価値を持っている。「あるがままである権利」「社会を構成し、担っていく主体者である」なんて清々しい響きでしょう。自分の子育ての頃に、国連で子どもの権利条約が採択され、日本の批准は発効から4年後。息子等の実際の小中高校生活は楽しい事もありますが、何と理不尽な事の多い事かと、買い求めた本の中の中の条約条文内容と比較して、そのひらきの大きさに苦々しい思いをいたしました。鉤江の子どもの権利を考える会の皆さんのご努力に敬意を表します。</p> <p>①鉤江の子ども達の一言一言を根気強く拾い上げ「イヤなことを言われて嫌な思いをするのは大人も子どもも同じ」「他の子と比べないで、私を見て尊重して欲しい」等など、条文中組み入れていることが読み取れて良いです。②子ども達は、暮らしている鉤江を誇らしく思えるようにしたいし、大切にしたい。大人が幸せな背中を見ていることが子どもも安心な気持ちを持てるとも。③鉤江の子ども等の権利を守る、振る所となる条例となる事です。</p> <p>ただ、第18条以降(相談体制)推進体制・効果検証)については、いささか不足気味の感があります。子どもの権利侵害について、相談・救済をおこなう子どもの権利擁護委員制度(オブザーバー)制度の開設が必要に思われます。ただ単に窓口相談だけでは、解決に結びつかないのが常に思われます。命に直結する不幸なニュースが後をたちません。個人的な問題と思われない事が、他の多くの子どもの最善の利益にも繋がります。見通してはいけないと思うのです。</p> <p>①行政から独立した立場で、監視する ②子どもの代弁者として、必要な制度などを提案する ③申し立てを受けるなどして、必要な救済(個別救済)を提供する ④こどもの権利に関する広報や宣伝、教育等の機能を有する公的第三者機関です。</p> <p>今回の条例が制定されたら、すくにも、上記の制度化へ取り組み始める事を希望します。川崎市では市民子ども等への啓蒙の為に、子ども権利月間を決めて、印刷物等配布していますが、効果かどうかは分かりません。市民への人権への啓蒙浸透活動には、日ごろからの地道なコミュニティ活動からかもしれませんね。子どもは鉤江市の大切な宝です。条例も大事に育てていきましょう。</p>	<p>条例の制定に当たっては、鉤江市子ども・若者・子育て会議において議論を重ね、また、子どもや市民の方からのご意見を聴くため様々な取組を実施してまいりました。相談体制の整備を含めた条例の推進に当たっての具体的な取組等については、いただいたご意見を踏まえ検討してまいります。</p>	×	
39	<p>子どもの権利条例の策定にあたって、多くの専門家や市民、特に子どもたちの意見を聞くために、様々な取り組みがなされた聞いています。またそのために当初の検討期間を延長したとのこと、担当された委員の方々のご努力に敬意を表します。市民が参加して、納得して割り上げていくこそ、大切に守り育てて行く条例になるのだと思います。内容としては、子どもの権利の大事なひとつ、意見表明権は、子どもが意見を述べるだけでなく、大人にそれを感じてもらい、一緒に考えてもらうこと、ともに実現していくプロセスが重要です。この点は条例の中では、まだ十分に表現できていないのではないのでしょうか。他にも子どもがこの条例を理解するには難しいと思われる部分も見受けられます。条例は作る事が目的ではなく、それをいかに適用していくかで、本当に子どもの最善の利益を守るものになるかが明らかになると思います。子どもの声を聞く機関の設置や救済措置など、具体的に実施していく方策を考えるために検討委員会の継続をお願いします。</p>	<p>条例の制定に当たっては、鉤江市子ども・若者・子育て会議において議論を重ね、また、子どもや市民の方からのご意見を聴くため様々な取組を実施してまいりました。ご意見いただきましたとおり、条例は制定してその意義を伝えるのではなく、それをいかに適用していくが大切かと考えております。全ての人が条例の主旨を理解し、実践していくことが必要であることから、条例の周知啓蒙を図るために、条例の背景や条文中の内容等を解説した条例の逐条解説を作成してまいります。また、条例の推進に当たっての具体的な取組等については、いただいたご意見を踏まえ検討してまいります。</p>	×	
38	<p>前文から全てに渡って子どもの権利を尊重する姿勢が感じられる条例になっていると思いました。一点のみ気づいたことがあります。</p> <p>第4(6)に「学びたいことが学べ、云々」と触れていますが、教育を受ける権利が余り書かれていないように思いました。鉤江市の学校が、すべての子ども達が友だちとともに学ぶ喜びを得られる場になってほしいと考えます。今の教育はとくテストの良感を頼り合う教育になりがちなので、ゆくり考え合い、話し合いながら好奇心が育ち、学ぶことが楽しいと感じる学校教育になってほしいと思います。本当の学力とは、競争によって優越感や劣等感を子ども達に持たせるものでなく、友だちと学び合う喜びの中から生まれるものだと思います。</p>	<p>「教育を受ける権利」は憲法に規定されている権利であり、本条例において改めて規定しておりませんが、ご意見いただきましたとおり第4条「生きる権利及び成長・発達する権利」第6項において、「自由に遊び、学びたいことが学べ、多様な体験ができる環境が保障されること。」を規定しています。いただいたご意見を踏まえ、条例の逐条解説において、教育に関する言及を検討してまいります。</p>	×	
37	<p>19歳以下を子どもとするなら、私はすでに30年もの前に子育てを終えていること、「子ども」に直接関係する仕事は1年ほどしか経験がないこと、まして「権利」の専門家ではありませんが、市内で社会活動している経験から、今回の「子どもの権利条例(案)」に感想的に意見を述べさせていただきます。</p> <p>○当初が「こども条例」と聞いていたので、心配していました。「子どもの権利条例」となると、全体が分かりやすく、すっきりしたように思います。1年経びた検討してきた成果が表れていると感じます。○包括的な条例になっている、「子どもの権利」を記すだけでなく、大人の対応・役割が示されていること、施策の推進及び体制として効果の検証を位置付けていることなど、とても良い条例になっていると思われます。特に、実践が大切になるので、「定期的にその効果を検証し、その結果を公表します」としている実行を、ぜひお願いします。○差別やいじめ等の直接的な問題とともに、日常的な子どもの権利としての「意見表明」とそれに対する大人の「応答性」が大事と聞いていましたが、17条2項に関連し、押し付けではなく、子どもとの対話が弾むことを期待します。</p> <p>○前文に驚きました。良いですね！子どもからも意見を頂戴したと聞いています。その反映ですか。私も日頃から「子どもは神様」と思っています。道端で会うとつい一声かけたくなる一人です。そういう姿勢で条例をつられたかと、嬉しくなります。</p> <p>○この条例に基づいて実践されることで、鉤江の子どもを取り巻く環境が大いに改善されることを期待したいと思います。</p> <p>○子どもの権利を確立しようとする目標が確かな条例案かと思えます。関わった市職員、会議に参加された市民参加の委員の皆さんに感謝します。</p>	<p>条例の制定に当たっては、鉤江市子ども・若者・子育て会議において議論を重ね、また、子どもや市民の方からのご意見を聴くため様々な取組を実施してまいりました。全ての人が条例の主旨を理解し、実践していくことが必要であることから、条例の推進に当たっては、具体的な取組等いただいたご意見を踏まえ検討してまいります。</p>	×	
36	<p>2人の2歳の男の子がいる父親です。</p> <p>素晴らしい条例、また取り組みありがとうございます。</p> <p>子ども部分の前文について、子どもの言葉なので、権力、手を入れられない方がいいと思いますが、自身が子どもの時に考えていたことを振り返りましたので、もしよければご検討ください。特に、「権利」など難しい言葉は難しいと思いますが、子どもたちが、子どもたちが、大人と対等な立場で、むしろ大人を要えることもできる存在であることを、胸張っている。前向きなメッセージを入れられるといいなと感じています。</p> <p>以下、追記してほしい文を提案します。</p> <p>(1) 私たち(子ども)が笑顔でいることで、太陽のように、地域を、周りのみんなを、明るくすることができます。</p> <p>(2) 私たちの成長は、自身の努力と共に、大人たちの成長いかににかかっているとも思います。私たち子どもは、「未来から来た使者」であり、大人の皆さんが築き上げてきた「遺産の後継者」です。だから、みんなで明るく笑顔あふれる未来に向けて一緒に成長したいんです。</p> <p>大人部分の前文について、子どもを尊重との言葉よりも、「尊敬」。そして、「かけがえのない未来」そして、子どもが「笑顔」でいられるようにする大人でいたいと思ひ、要素だけでも加えてほしい、以下の提案をします。</p> <p>「(1) 子どもが特有の権利を守ります。」のあとに、「何より、子どもを、一人の人間として尊敬します。」が「子どもにも、自ら幸福を追求する権利があり、一人の立派な人格として尊重される権利があるからです。」を追加して欲しいです。</p> <p>(2) 「子どもの意見、気持ち及び考えを受け止め、子どもとの対話を通じて、子どもにとって最も良いことは何かを考え、その実現のために子どもとともに努力していきます。」に、「時には、言葉にならない声や、叫びに耳を傾けて」を追加して欲しいです。</p> <p>(3) 「子どもに優る姿はありません。」のあとに、「子どもはかけがえのない未来であり、かけがえのない希望であります。そして、子どもが笑顔でいられる世界は、みんなが笑顔でいられる世界です。」ことを追加して欲しいです。</p> <p>条文中の細かいところまでは確認できていません。</p> <p>この条例ができることで、子どもも大人も、共に成長するきっかけとなり、また、子どもと子どもの間でも、生まれた環境に関わらず、生きづらさや不公平感を極力感じることなく、さらに、調布市や世田谷区などの地域との格差を感じることもなく、笑顔あふれる未来につながることを祈っています。</p>	<p>前文の作成に当たっては、条例検討ワークショップ等においていただいたご意見を踏まえ作成しております。特に子どもからのメッセージについては、ワークショップにおける子どもからの声を採用して作成しています。いただきましたご意見を踏まえ、「市・大人からのメッセージ」について、表現を一部修正させていただきます。今後、逐条解説等において分かりやすい表現に努めてまいります。</p>	○	<p>(前文)</p> <p>【修正前】 私たちは、地域全体で子どもを見守りながら、子どもの基本的人権や成長・発達に応じた子ども特有の権利を守ります。</p> <p>【修正後】 私たちは、<b>子どもを一人の人間として尊重し</b>、地域全体で子どもを見守りながら、子どもの基本的人権や成長・発達に応じた子ども特有の権利を守ります。</p>
35	<p>特に無い</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>	×	

34	<p>仕事で高校中退や不登校経験のある若者と関わっておりますが、18才を超える児童相談所を含めた支援機関の対象から外れて、「制度の隙間」が生まれている現状もあります。本条例は「子ども(18歳未満)」の権利について定めていますが、例えば18、19、20の若者の中には、定時制や通信制高校に在籍して学んでいる方、学校を中退して所属のない方、家庭背景から中卒で働きはじめたものの困難さなどもあります。そうした「子どもから大人への移行期」についても適切な支援が継続されてほしい強く感じています。</p> <p>例えば近隣自治体の武蔵野市では、子どもの権利条例に以下のような項目が含まれています。</p> <p>(武蔵野市子どもの権利条例より)</p> <p>第20条 市は、おとなへと移行する時期の子どもが社会的自立のための支援を必要とする場合、18歳以上であってもその支援を継続して受けることができるよう、環境の整備に努めます。</p> <p>柏江市の条例案では、子どもから大人への移行期支援については具体的に明記していませんが、子どもの定義の「ただし、これらの者と同等の権利を認めることが適当であると認められる者も含めるものとしませう」という文言には、そのような移行期の若者も想定されているのでしょうか、そうでない場合は、子どもから大人への移行期にある若者たちの権利はどう保障していくのでしょうか。</p>	<p>第2条「定義」において、子どもは、「原則として市内に在住・在学・在勤し、又は遊びその他の目的で滞在する18歳未満の者をいいます。ただし、これらの者と同等の権利を認めることが適当であると認められる者も含めるものとします。」と規定しています。この規定の背景としては、成人年齢が18歳であることから、本条例においても市内に在住・在学・在勤し、又は遊びその他の目的で滞在する18歳未満の者を対象としています。また、柏江市に住んでいる人だけでなく、遊びや通学等、市内にある学校に通っている人、市内の施設等を利用する人や、市内にある事業所で働いている人、事業活動をしている人も対象としていますが、必ずしも一律に年齢で区切ることが適切ではないこともありますので、この他にこれらの人と同等の権利を認めることが適当であると認められる場合は、18歳以上の人についていっても含むことを想定しており、ご意見いただきました子どもから大人への移行期についても状況を踏まえ本条例の対象とできるよう規定しているものです。</p>	×	
33	ありません	ご意見ありがとうございます。	×	
32	<p>・最初はとても心配な状況でしたが、が、全体的に条文などが随分推敲されたと思います。子どもたちの声を聴き、大人の意見にも耳を貸し、一丸となって時間をかけ、しっかりと議論しながらお互いの理解を深めながら進めた成果だと思います。委員の方たち、行政職員、条例制定に力を貸して協力くださったみなさまに市民としてお礼申し上げます。</p> <p>何点か気になった点を以下に意見させていただきます。</p> <p>・前文（市・大人からのメッセージ） 「いかなる富をもってしても子どもに勝る宝はありません」の表現が前後と比べて異質に聞こえます。表現の再考を求めます。⇒ 「子どもは柏江市の宝であり、共生社会をつつしていくパートナーとして未来への希望です」とか。 ・第4章 基本となる施策 (虐待の防止)第13条 3項「安心して相談し、および救済を求めることができる体制を整備します」 個々には具体的にオンブズパーソンの導入をするとか、または子どもが行きやすく相談しやすい相談窓口の整備をするなど書き込むべき。 異体かなければ柏江市の人権条例のように理念条例に終わってしまいます。理念条例に終わらせない覚悟を記すべきです。 (いじめの防止)第14条 3項「そのような行為を行った子どもに対しても、適切な支援を行います」の部分の いじめを行うのは子どもに限定できないと思います。大人や教員が加害者になる場合もあります。 対象の再考と、そのあとにつづく適切な支援を行います」を「適切な支援や対応を行います」。 (子どもが安心・安全に育ち、生活できる環境づくり)第15条2項 努力義務でなく、「整備を進めます」と言い切ってほしいです。 (相談体制)第18条1項 「安心して日常的に相談できる窓口体制を整備します」をさらにどういう相談場所ができるのか想像できるように、「オンブズパーソンの導入」など具体的に表現する必要があります。 (推進体制・効果検証)第21条 推進・検証は全庁的にカバーできるようにすべきです。 以上</p>	<p>条例の制定に当たっては、柏江市子ども・若者・子育て会議において議論を重ねてまいりました。前文「市・大人からのメッセージ」については、柏江市子ども・若者・子育て会議において議論の上、条例検討ワークショップにおいていただいたご意見を踏まえ作成しております。今後、逐条解説等において分かりやすい表現に努めてまいります。</p> <p>第13条「虐待の防止」、第18条「相談体制」、第21条「推進体制・効果検証」について、その具体的な手法については、いじめる・いじめられる意見を踏まえ今後検討してまいります。</p> <p>第14条「いじめの防止」について、「大人や教員が加害者になる場合」についてのご意見については、「いじめ」は、当該児童・生徒に対して、当該児童・生徒と一定の人間関係にある他の児童・生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為を指すものであり、大人の場合については、第13条「虐待の防止」において、虐待は誰であっても、どのような理由があってもしてはいけないことを規定しております。</p> <p>第15条「子どもが安心・安全に育ち、生活できる環境づくり」について、いただいたご意見を踏まえ、表現を修正させていただきます。</p>	○	<p>(第15条第2項)</p> <p>【修正前】 市は、子どもが健康を保持し、増進していくとともに、ありのままに豊かに育つための安全で良好な環境を整備するよう努めます。</p> <p>【修正後】 市は、子どもが健康を保持し、増進していくとともに、ありのままに豊かに育つための安全で良好な環境を整備します。</p>
31	国に相応しい条例が多くていいと思いました	ご意見ありがとうございます。	×	
30	<p>柏江市子どもの権利条例(案)を見直し、子どもからのメッセージに始まる条例案に感銘を受けました。子ども条例(案)の検討に始まり、子ども・若者・子育て会議のメンバーが子ども参加を実現するために多くの時間と労力をかけ、粘り強く市と議論を重ねて作られたことに感謝します。</p> <p>第3章「子どもの権利を保障するための地域づくりが今後の柏江市にとって大事な指針になることを期待します。</p> <p>子どもが長い時間を過ごし、成長発達にも多大な影響を持つ学校教育がこの条例によってどう変わるのか、関心があります。条例の中で「学校」は施設として位置づけられ、施設に従事している職員及び施設においてボランティアを行うものが施設関係者と位置付けられています。今回柏江市子どもの権利条例が作られること、子どもたちが権利の主体者であること、その他子どもの権利について子どもたち自身が学ぶことができる機会を提供する責任は第一義的にだれが持つと考えられているのか教えてください。</p> <p>付則に書かれている相談体制の整備については一刻も早く整備し、今困っている子どもたちに対応していただくようお願いいたします。既存の施設では真正に向けて動くことが難しいと思うので、オンブズパーソンのような一定の権力が認められる人が必要方と思います。以上</p>	<p>条例の制定に当たっては、柏江市子ども・若者・子育て会議において議論を重ねてまいりました。本条例の制定は市が行うものであり、また、本条例に規定している子どもが権利の主体であることや子どもと大人と関係し権利があることは、子どもも大人にも知っていただく必要があります。全ての人が条例の主旨を理解し実践していくことが必要であることから、第20条「条例の普及・啓発」において、市が様々な機会を捉えて、普及啓発に努めていくことを規定しています。相談体制の整備については、いただいたご意見を踏まえ今後検討してまいります。</p>	×	
29	このままでいいと思う	ご意見ありがとうございます。	×	
28	<p>学校でゲームok 理由は授業のモチベを上げるためです</p>	各学校では、児童・生徒が授業を楽しむように様々な工夫をしています。ゲーム的な要素を取り入れるなど、児童・生徒が授業にのめり込めるような工夫を今後も検討してまいります。	×	
27	ない	ご意見ありがとうございます。	×	
26	ない	ご意見ありがとうございます。	×	
25	<p>柏江市子どもの権利条例が良いと思います。</p> <p>子供達が子供らしくいられる、ということは今後の未来に繋がっていると思います。</p> <p>他には、もう少しボールで遊べるような公園を増やして欲しいです。</p> <p>なぜなら、遊ぶことは子供の成長に大きく繋がるからです。</p>	<p>条例の制定に当たった各種取組からも、ボール遊びができる場所、公園のルール、遊具等に関する意見、自由に利用出来る憩遊場所等に関する意見も多く寄せられました。本条例においても子どもの居場所づくりについて規定しており、いただいたご意見も踏まえ、全ての子どもが安心して過ごせる居場所を地域の中に広げていくことに努めてまいります。</p>	×	
24	ボールをもっと公園でも使いたい	<p>条例の制定に当たった各種取組からも、ボール遊びができる場所、公園のルール、遊具等に関する意見、自由に利用出来る憩遊場所等に関する意見も多く寄せられました。本条例においても子どもの居場所づくりについて規定しており、いただいたご意見も踏まえ、全ての子どもが安心して過ごせる居場所を地域の中に広げていくことに努めてまいります。</p>	×	
23	ボールを使えるところを増やしたい	<p>条例の制定に当たった各種取組からも、ボール遊びができる場所、公園のルール、遊具等に関する意見、自由に利用出来る憩遊場所等に関する意見も多く寄せられました。本条例においても子どもの居場所づくりについて規定しており、いただいたご意見も踏まえ、全ての子どもが安心して過ごせる居場所を地域の中に広げていくことに努めてまいります。</p>	×	
22	室内で遊ぶ所を増やして欲しい	<p>子どもの皆さんが安心して生活できるように、本条例においても子どもの居場所づくりについて規定しております。全ての子どもが安心して過ごせる居場所を地域の中に広げていくことに努めてまいります。</p>	×	
21	伸び伸び暮らしたい	ご意見ありがとうございます。	×	

20	室内で遊べる場所をもっと作って欲しいです。	子どもの皆さんが安心して生活できるように、本条例においても子どもの居場所づくりについて規定しております。全ての子どもが安心して過ごせる居場所を地域の中に広げていくことに努めてまいります。	×	
19	子供でも大人と同じように話し合いに参加できるところが良かった	本条例でも規定しているとおり、子どもに関することを決める際には、子どもの意見も十分に考慮することが必要です。第7条「意見表明及び参加・参画する権利」、第17条「意見表明及び参加・参画の促進」において、意見表明について定めており、自由に自分の意見、気持ち及び考えを表明・表現することや参加・参画できる環境や機会を提供してまいります。	×	
18	もっとボールで遊べる公園を増やしたい	条例の制定に当たった各種取組からも、ボール遊びができる場所、公園のルール、遊具等に関する意見、自由に利用出来る勉強場所等に関する意見も多く寄せられました。本条例においても子どもの居場所づくりについて規定しており、いただいたご意見も踏まえ、全ての子どもが安心して過ごせる居場所を地域の中に広げていくことに努めてまいります。	×	
17	賛成です。	ご意見ありがとうございます。	×	
16	賛成	ご意見ありがとうございます。	×	
15	もっとボール遊びができる場所を作ってほしい	条例の制定に当たった各種取組からも、ボール遊びができる場所、公園のルール、遊具等に関する意見、自由に利用出来る勉強場所等に関する意見も多く寄せられました。本条例においても子どもの居場所づくりについて規定しており、いただいたご意見も踏まえ、全ての子どもが安心して過ごせる居場所を地域の中に広げていくことに努めてまいります。	×	
14	ありのままでいられる権利が良いと思いました。	ご意見ありがとうございます。このありのままでいられる権利は、条例制定に係る取組におけるWEBアンケートやアウトリーチヒアリング、条例検討ワークショップにおいても子どもからの意見が特に多かったものです。この条文については、「自分らしくいられる権利」という表現もありましたが、条例検討ワークショップにおける子どもの声を踏まえて、「ありのままでいられる権利」という表現としています。	×	
13	ありのままでいられる権利が良いと思います	ご意見ありがとうございます。このありのままでいられる権利は、条例制定に係る取組におけるWEBアンケートやアウトリーチヒアリング、条例検討ワークショップにおいても子どもからの意見が特に多かったものです。この条文については、「自分らしくいられる権利」という表現もありましたが、条例検討ワークショップにおける子どもの声を踏まえて、「ありのままでいられる権利」という表現としています。	×	
12	子供の意見を尊重してほしい	本条例でも規定しているとおり、子どもに関することを決める際には、子どもの意見も十分に考慮することが必要です。第7条「意見表明及び参加・参画する権利」、第17条「意見表明及び参加・参画の促進」において、意見表明について定めており、自由に自分の意見、気持ち及び考えを表明・表現することや参加・参画できる環境や機会を提供してまいります。	×	
11	大人だけの発言だけでルールが決まるのに子供の意見は取り入れられないなら子供の納得できるルールではないと思う 子供の意見もちゃんと聞いてほしい	本条例でも規定しているとおり、子どもに関することを決める際には、子どもの意見も十分に考慮することが必要です。第7条「意見表明及び参加・参画する権利」、第17条「意見表明及び参加・参画の促進」において、意見表明について定めており、自由に自分の意見、気持ち及び考えを表明・表現することや参加・参画できる環境や機会を提供してまいります。	×	
10	もっとボールを使える公園を増やしてほしい	条例の制定に当たった各種取組からも、ボール遊びができる場所、公園のルール、遊具等に関する意見、自由に利用出来る勉強場所等に関する意見も多く寄せられました。本条例においても子どもの居場所づくりについて規定しており、いただいたご意見も踏まえ、全ての子どもが安心して過ごせる居場所を地域の中に広げていくことに努めてまいります。	×	
9	大人だけの意見で決まりを決めずに、子供の意見も取り入れる	本条例でも規定しているとおり、子どもに関することを決める際には、子どもの意見も十分に考慮することが必要です。第7条「意見表明及び参加・参画する権利」、第17条「意見表明及び参加・参画の促進」において、意見表明について定めており、自由に自分の意見、気持ち及び考えを表明・表現することや参加・参画できる環境や機会を提供してまいります。	×	
8	こどもの権利についてうちの親は守っていませんしもっと厳しくするのがいいと思いました	子どもの権利を保障していくためには、全ての人が条例の主旨を理解し実践していくことが必要であることから、今後、様々な機会を捉えて条例の普及啓発に努めてまいります。	×	
7	ない	ご意見ありがとうございます。	×	
6	もっとボールを使える公園を増やしたい	条例の制定に当たった各種取組からも、ボール遊びができる場所、公園のルール、遊具等に関する意見、自由に利用出来る勉強場所等に関する意見も多く寄せられました。本条例においても子どもの居場所づくりについて規定しており、いただいたご意見も踏まえ、全ての子どもが安心して過ごせる居場所を地域の中に広げていくことに努めてまいります。	×	
5	特にないです	ご意見ありがとうございます。	×	
4	子供達が安心して生活できる場所をつくる 一児童館を増やす。大人が見回しする。	子どもの皆さんが安心して生活できるように、本条例においても子どもの居場所づくりについて規定しております。全ての子どもが安心して過ごせる居場所を地域の中に広げていくことに努めてまいります。	×	

3	<p>条例(案)を拝読しました。内容については、先ずは素晴らしい内容と感じました。こどもに関わる大人が、それぞれの立場で、どのように関わるかが大事ななか、その「心構え」や「進めるべき」が、簡潔にまとめられていると感じました。特に、「前文」の(子どもからのメッセージ)は、柏江市に限らず、全ての大人に読んで欲しい文章であると思いましたし、条例の中で大事にしたいこどもの想い」が詰まっていると感じながら読みました。この条例が制定され、そして施行されたところからが本当のスタートだとも感じています。</p> <p>川崎市は、こどもの権利条例を、自治体で初めて制定した先駆的な近隣市でもあります。「こども夢パーク」をはじめ、こどもの権利や居場所を推進している人や場所が多い自治体として、色々学ぶべきものがあると思っています。</p> <p>その川崎市でさえ浸透させることが課題と感じているようです。先日川崎市のある方とお話しした際に、「特に学校の中にこどもの権利条例が全然浸透していないと感じています。そこは職員が変わってしまったり、縦割りの行政の課題ですね。」と話されていたことが印象的でした。</p> <p>大都市が故に人口の流動や異動などが多いということも要因の一つだと思いますが、学校という独特な環境と古いシステムの中に、どのようにこの条例を浸透させていくことができるのか、そこが重要なことだと思います。</p> <p>同様の課題は今後の柏江市にも少なからず当てはまることかと感じます。</p> <p>逆を言えば、(川崎市と比べて)人口の少なさが条例の浸透させやすい(強み)にもなると思います。</p> <p>施行後の市民や関係者への浸透を計ること、学校や教育の中へ根付かせること、これらが来年度以降の活動に必要なことかと感じています。</p> <p>これからも期待していますし、応援しています。</p> <p>また、自分自身でも、この条例を大事に活動していきたいと思いました。</p>	×	<p>条例の内容の共有や実践に向けて、まずは周知啓発をしていく必要があると考えております。今後の条例の推進に向けて、条例の背景や条文の内容等を解説した条例の逐条解説を作成してまいります。また、全ての人の条例の主旨を理解し実践していくことが必要であることから、第20条「条例の普及・啓発」において規定しているとおり、今後、学校教育や成長・発達段階に応じた様々な機会を捉え、普及啓発に努めてまいります。</p>	
2	<p>子どもの権利条例が意味あるものにするためには「①権利救済、②制度改善、③政策監視、④教育啓発」の4点がカバーされることが大事です。①今まさに困っている子どもを救済できるか、という点でいうと、この条例案では18条に「相談窓口体制の整備する」とあります。単なる相談ではなくて、関係調整を具体的にやる機関が必要です。オランダマン・イン・SSWなどの人的資源は不可欠。また、個別事例から得られた知見を②制度改善につなげていく仕組みも重要となります。また現状政策に対する③政策監視という役割も必要です。本条例案でいうと、21条に「施策の効果定期的に検証する」とありますが、これでは「だから」「どのよう」に行かう不明確です。第三者の機関が市の政策を定期的にアセスメントし、実効性ある施策になっているか改善点はどこかを検証されなくてはなりません。21条に「財政的な措置を講ずる」との一文が入ったことは極めて重要です。これがないと理念的なものになって作る意味があったのか分からないような条例になってしまいます。④教育啓発という点でいうと、たとえば柏江市内の学校において、教員が子どもの権利を理解する研修が行われるとか、子育て支援の場に反映するだとか、そのあたりももう少し具体的に書きこまれると良いかなと思います。</p> <p>もう一点、意見表明権に対する理解なのですが、本条例案では6条と7条にまがていいると理解できますが、これは条約の本質をふまえていません。意見表明権の本質は、子どもの意見表明に対して大人の応答責任があるところであり、「自分で自分のことを決める権利」というより「強き自己」概念に基づいた近代的市民権とは一般を面するものです。そもそも、子どもに「要には自己決定権がある」と言ったところで一体何が起きるのか、大切なのは6条の(1)(2)にあるような、必要に応じた相談や応答的なコミュニケーション・良質な人間関係がすべての子どもに保障されることなのです。これは「自己決定権」ではありません。川崎市子どもの権利条例がミスリードしていますが、子どもの権利の本質は「大人との関係性」です。そもそも自立していない子どもが、権利主体となるということは、大人とのき関係性の真ん中になかにあることで意見が大切にされて、はじめて主体性を発揮できるものです。赤ちゃんと違いは、この意見表明は周りの大人がどうしたの？と気に掛けることで初めて意見表明として成立します。子どもの権利主体性はこのうした大人の応答を引出す力です。だから赤ちゃんにも権利があると言えるのです。逆に受け止められなければたの障害にしかありません。ですので6条は「自分で自分のことを決める権利」ではありません。また、解説の方で「失敗に価値がある」という記述がありますが、条文からは見ええていないのだとしたらそれはそう書きこんでもよいのではないかなと思います。</p> <p>続いて7条についてです。ユニセフが権利条約13条以下の表現の自由と意見表明権を混同して「参加の権利」で括っているので、こうなりがちですが、表現の自由と意見表明権は質的に違います。7条は具体的な何を規定している条文なのか不明確です。「地域の活動に参加できること」は意見表明権のごく一部にすぎません。6条がきちんと整備されれば7条は必要ないようにも感じますが、あえて「参加」を規定したいのだとすれば、社会参加権として学校・社会教育や市政に対する意見表明権の機会を確保する「施設・大人」側の努力を規定するのが良いかと思います。それ関わって、10条2項の「子どもを施設運営の関係者として認める」というのが、いいかわかりませんが、「施設関係者」が主語で、さらに「施設運営の関係者」ですから、ちょっと意味不明です。様々な子ども参加を通して子どもたちのエンパワメントを促進するという積極的な意味をもたせるならば、それもありかなとは思いますが、条文からははいります。</p> <p>些末な話になりますが、前文などに「子どもは大人と等しく権利の主体」という記述が散見されます。「等しく」とありますが、「等しくない」から子どもの固有の価値を認めるべきだということではないでしょうか。子どもは大人と違って自己決定・自己責任取れない存在だから「等しく」ないのです。等しくないから大人とは違った権利主体性を見出し、特別な環境整備をする必要があるのです。子どもの権利条約も、国際人権規約にある大人の権利をそのまま当てはめているように見えて、実は家族の価値観や地域共同体的価値観にかなり配慮した、人権的には後退した内容になっています。つまり大人と同じではないんです。「権利を主張するから責任も取れ」的な物言いは、このあたりの無理解に起因しています。大人と違って「責任取れない存在」だからこその「権利保障」の必要性なんですね。そのあたりのことをかんがえると「等しく権利の主体」という言い方は、理念的には共感しなくもないですがミスリードを招くような危惧もあります。</p>	○	<p>条例の推進に当たっては、関連計画との整合性を考慮した上で計画を策定し、その内容について定期的に検証し公表することとしており、必要に応じて関連機関からの助言等を得ながら進めてまいります。具体的体制についてははいたいたご意見を踏まえ検討してまいります。また、条例を推進していくためには、財政的な措置が必要となることから、財政的な側面についても規定しています。子どもの権利を保護していくためには、全ての人が条例の主旨を理解し実践していくことが必要であることから、ご意見いただいたとおり様々な機会を捉えて条例の普及啓発に努めてまいります。</p> <p>第6条「自分で自分のことを決める権利」及び第7「意見表明及び参加・参画する権利」のご意見につきましては、柏江市として特に大切に確保されなければならない権利として規定するものであり、まず自分に関することについて自分自身が決めることができるということを確認すること、次の条において、子どもは自由に自分の意見、気持ち及び考えを表明・表現することができるということを確認するために規定しているものとなります。一方で、自己決定に関する権利とあわせてそれらに関して意見を表明することができ、それが尊重されることが前提として非常に大切であることから、いただいたご意見を踏まえ、第6条に3項を追加する修正をさせていただきます。「失敗」については、当初案文に記載する案もありましたが、条例検討ワークショップにおける子どもから意見を踏まえ、逐条解説において記載する整理とさせていただきます。なお、第6条は、条例制定に係る取組におけるWEBアンケートやアウトリーチアヒリング、条例検討ワークショップにおいても、自分の希望に従って脱載する機会を与えて欲しいことや自分の意見を認めて欲しいということについて、子どもから多くの意見をいただいたことから規定しているものでもあります。また、第7条における施設・大人の努力を規定するご意見については、第3章において規定する整理とさせていただきます。</p> <p>第10条第2項について、いただいたご意見を踏まえ、表現を修正させていただきます。</p> <p>前文については、柏江市子ども・若者・子育て会議において議論の上、条例検討ワークショップにおいていただいたご意見を踏まえ作成しております。子どもの権利条例は、子どもを権利の主体であると捉え、大人と同じように子どもにも権利の主体として様々な権利を認めると同時に、子どもが成長の過程にあり保護や配慮が必要となる子ども特有の権利を認めているものである、という考えをもとに作成しておりますので、いただいたご意見を踏まえ、「等しく」の表現を修正させていただきます。。</p>	<p>(前文 ※市・大人からのメッセージ、第1条、第3条、第8条)</p> <p>【修正前】 大人と等しく権利の主体(権利が保障され)</p> <p>【修正後】 大人と同じように権利の主体(権利が保障され)</p> <p>(第6条第3号)※案文追加</p> <p>○ (3)「自己決定に際して、次条に規定する自分の意見、気持ち及び考えを表明・表現(以下「意見表明」といいます。)することができる、それを受け止め受け止められなければならない人間関係が保障されること。</p> <p>(第10条第2項)</p> <p>【修正前】 2 施設関係者は、子どもを施設運営の関係者として認め、子どもの主体性を尊重し、子どもの施設における主体的な活動を啓発し、支援しなければなりません。</p> <p>【修正後】 2 施設関係者は、子どもを施設運営に関わる当事者の一員として認め、子どもの主体性を尊重し、子どもの施設における主体的な活動を啓発し、支援しなければなりません。</p>
1	<p>お疲れさまです！とても良い取り組みですね、応援しています。</p> <p>個人的に感じたことは、このような活動や条例の制定が必要となった背景や課題、何をみて目標達成できたのかを共有する必要があると思います。</p> <p>背景、課題についてはより具体的な例、件数などが明記されていると市民の皆さんの危機認識が上がるかと思います。</p> <p>また条例についてももう少しわかりやすい要点だけ把握できる資料があると、読む側の理解が高まるかと思います。(子供が理解するにも)そして、この条例を制定することでどういう世界を作っていくための、何を持って成功と言えるか？As-is/To-Beを明確に伝えるべきかと思いました。</p> <p>50人のセミナーだけでは非常に限定的です。もっとわかりやすい資料を作成して広く活動を知ってもらいたいし、私自身知りたいです！色々と偉そうな事を書いてしまいましたが、このような活動を自発的に行われているみなさま、本当に尊敬します、頑張ってください！</p>	×	<p>条例制定に至った背景や課題等の分かりやすい資料の作成についてご提案いただきありがとうございます。条例の内容の共有や実践に向けて、まずは周知啓発をしていく必要があると考えております。今後の条例の推進に向けて、条例の背景や条文の内容等を解説した条例の逐条解説を作成してまいります。</p>	